

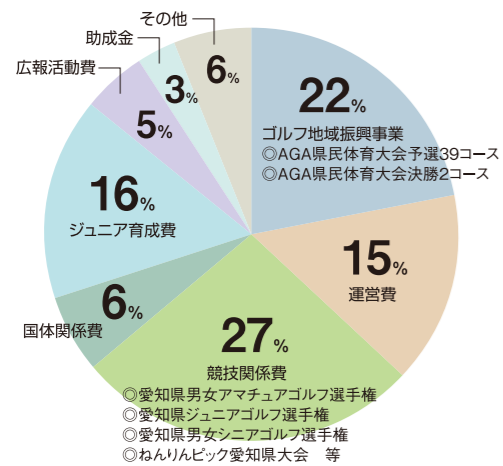
平成22年度も競技、国体、ゴルフ振興事業を中心に、さまざまな事業活動を行いました。

AGAゴルフ振興基金は、平成22年4月1日より平成23年3月31日の1年間で、2,065,032人の皆様にご協力をいただきました。

紙面をお借りして、心から御礼申し上げます。

（平成22年度 愛知県ゴルフ連盟活動内容）

（年間の総事業資金：6,200万円）



※平成22年度(平成22年4月1日より平成23年3月31日まで)

平成23年度 愛知県ゴルフ連盟

【役員】

- | | | |
|-----|---------------|------------|
| 会長 | 小杉将郎(知多) | 阿部 博(緑ヶ丘) |
| 副会長 | 泉 憲一(三好) | 小原 陸(葵) |
| | 杉浦 毅(貞宝) | |
| 理事 | 相羽 昭(笹戸) | 加藤義孝(東名古屋) |
| | 居波正彦(愛知) | 澤田康夫(名古屋) |
| | 加藤晃司(東海) | 高橋英機(支配人会) |
| | 北村 統(南山) | 高桑 耐(平尾) |
| | 松岡敏和(春日井) | |
| 監事 | 小島達雄(名古屋グリーン) | |

【委員】

- ◆運営委員会
- | | | |
|-----|-----------|-----------|
| 委員長 | 松岡敏和(春日井) | 居波正彦(愛知) |
| 委員 | 相羽 昭(笹戸) | 高橋英機(三好) |
| | 高桑 耐(平尾) | 小川哲夫(名古屋) |
| | 安藤寿昭(南山) | |
| | 加藤晃司(東海) | |
- ◆競技委員会
- | | | |
|------|------------|------------|
| 委員長 | 加藤幸一(名古屋) | 佐久間博敬(東海) |
| 副委員長 | 加藤昇昭(東名古屋) | 竹内久雄(知多) |
| 委員 | 泉 憲一(三好) | 堀田勝市(愛知) |
| | 鈴木文男(さなげ) | 溝口まち子(名古屋) |
| | 橋元幸次(名古屋) | |
| | 井上育子(愛知) | |
- 事務局長 久野 仁 (順不同・敬称略)

平成23年度 愛知県ゴルフ連盟 競技日程

●主催競技

- 第24回 全国健康福祉祭
 ねんりんピックゴルフ競技愛知県大会
 ◎H23.5/17(火) ◎東海カントリークラブ
- 第12回 愛知県ジュニアゴルフ選手権競技
 兼 第66回国民体育大会愛知県大会
 ◎H23.5/29(日) ◎名古屋グリーンカントリークラブ(東コース)
- 第14回 愛知県女子アマチュアゴルフ選手権競技
 兼 第66回国民体育大会愛知県大会
 ◎H23.6/1(水)・2(木) ◎三好カントリー倶楽部(西コース)
- 第14回 愛知県男子アマチュアゴルフ選手権競技
 兼 第66回国民体育大会愛知県大会
 ◎H23.6/8(水)・9(木) ◎頼田ゴルフ倶楽部(西コース)
- 第4回 愛知県男子シニアゴルフ選手権競技
 第3回 愛知県男子グランドシニアゴルフ選手権競技
 兼 第11回日本スポーツマスターズ愛知県大会
 ◎H23.6/23(木) ◎葵カントリークラブ
- 第4回 愛知県女子シニアゴルフ選手権競技
 第3回 愛知県女子グランドシニアゴルフ選手権競技
 兼 第11回日本スポーツマスターズ愛知県大会
 ◎H23.6/30(木) ◎さなげカントリークラブ
- 第3回 愛知県小学生ゴルフ選手権競技
 ◎H23.7/21(木) ◎春日井カントリークラブ(東コース)

- 第4回 AGA県民体育大会ゴルフ競技 スクラッチの部 決勝大会
 ◎H24.2/24(金) ◎名古屋ゴルフ倶楽部
- 第4回 AGA県民体育大会ゴルフ競技 ダブルベリアの部 決勝大会
 ◎H24.3/7(水) ◎平尾カントリークラブ

●後援競技

- 第15回 愛知県学生ゴルフ選手権競技
 ◎H23.8/1(月)・2(火) ◎稚戸カントリークラブ
- 第7回 愛知県ゴルフ練習場連盟ジュニア大会
 ◎H23.8/19(金) ◎鳴海カントリークラブ
- 第34回 中部ジュニア親子ゴルフ大会
 ◎H23.8/28(日) ◎名古屋広幡ゴルフコース
- 第13回 愛知県高等学校ゴルフ新人戦
 ◎H23.12/26(月) ◎中京ゴルフ倶楽部石野コース

●イベント

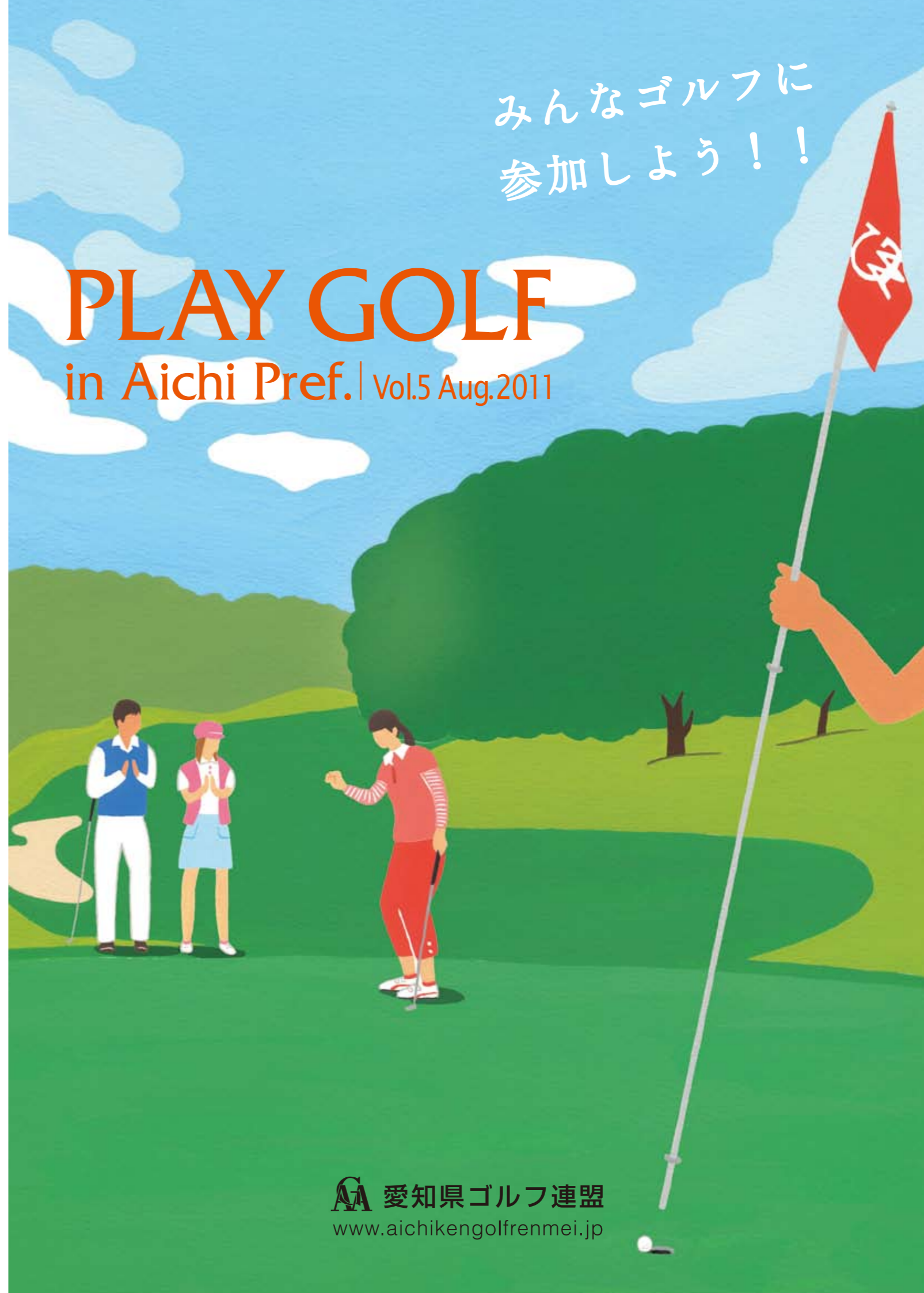
- AGAスナッグゴルフ大会
- AGAスナッグゴルフデー
- AGA高校生ゴルフレッスン会
- AGAジュニアゴルフレッスン会
- AGAジュニアゴルフ体験会
- AGAスナッグゴルフ指導者講習会
- 中日クラウンズジュニア観戦ツアー
- コカ・コーラ東海クラシックジュニア観戦ツアー

- 国民体育大会 第32回東海ブロック大会
 ◎H23.7/12(火)・13(水)
 ◎鈴峰ゴルフ倶楽部
- 第11回 日本スポーツマスターズ2011
 ゴルフ競技(石川県)
 ◎H23.9/14(水)~16(金)
 男子 ◎片山津ゴルフ倶楽部(白山コース)
 女子 ◎片山津ゴルフ倶楽部(加賀コース)
- 第66回 国民体育大会・ゴルフ競技(山口県)
 ◎H23.10/6(木)~8日(土)
 成年男子 ◎宇部72カントリークラブ(万年池東コース)
 少年男子 ◎山陽国際ゴルフクラブ
 女子 ◎宇部72カントリークラブ(万年池西コース)

- 第24回 全国健康福祉祭・熊本大会
 ねんりんピック2011ゴルフ交流大会
 ◎H23.10/17(月) ◎阿蘇ゴルフ倶楽部

みんなゴルフに
 参加しよう!!

PLAY GOLF
 in Aichi Pref. | Vol.5 Aug.2011



地元で楽しむ、ゴルフ競技の魅力

座談会



愛知県ゴルフ連盟会長 小杉将郎氏
副会長 泉 憲一氏
競技委員長 加藤幸一氏

2011年3月11日(金)東北地方で発生した大震災は、愛知のゴルファーにも衝撃的出来事でした。

愛知県ゴルフ連盟のゴルフ競技は、こうした非常時の中でも日程通り7競技が行われましたが、2011年の競技は、ゴルフ振興基金が設立されて5年目。ゴルフ競技への成果の一方で新しい県連の課題も見えてきました。そこで県連運営に携わっておられる3人の方に今年の競技を振り返ると共に、今後の課題についてお話を伺いました。

競技と共に東日本大震災への義援金活動も、アマチュアゴルファーの間で自発的に行われ、積極的にご協力いただきましたご厚意に心から御礼申し上げます。

最近の競技は、学生やジュニアの優勝が目立ちますね

小杉 ●アマチュア競技の大きな問題は、スクラッチで戦う競技だと中学・高校生など低年齢ゴルファーが上位入賞してしまうことです。これは全国的傾向です。公式競技の多くはスクラッチ競技ですから、極端に言えば倶楽部で一番ゴルフを楽しんでくれている大人たちが小・中学生に負けてしまい、優勝をさらわれてしまうやるせないケースとなっています。小さい頃からゴルフを始めることは、日本のゴルフの発展には結構なことですが、低年齢プレーヤーの「実力向上」でアマチュアゴルフの競技志向そのものが揺



小杉将郎氏

さぶられています。

泉 ●そこで中部ゴルフ連盟では今年からミッドアマ競技が出来ました。また愛知県では、男女アマで30歳以上の部の表彰を行い、ミッド世代のゴルファーの志気を高めたいと思いますよ。

3月の震災は県連競技に影響しましたか

小杉 ●確かに一時は自粛ムードがありました。しかし逆に東北をはげまそうという機運が高まり、競技も東北へ「元気と義援金」を

届けるかたちで盛り上がりましたね。

加藤 ●競技の参加申し込みも、締め切り前に定員オーバーの競技もありました。

小杉 ●ところが試合が始まる間際や当日になって「欠場」の連絡が結構くるんです。定員オーバーで締め切っても、結局、定員割れ競技となっています。

加藤 ●その日の天候によって直前にキャンセルされたり。練習ラウンドしてみたら難しかったのでエントリーを取り消すという選手もいます。またグランドシニアは参加希望者が随分と増えました。70代の皆さんは大変元気ですよ。

小杉 ●大勢申し込まれてもゴルフ場にはキャパシティーの限度があり、試合ですからキャディーの手配もせねばなりません。ジュニア競技は、バッグは「担ぎ」でキャディー「なし」が前例となっていますのでキャディーの問題はありません。シニア以上の競技は、キャディー付きでカートに乗っても良いことになっていますので参加者には好評ですが、これからもますますキャディーの確保には頭を痛めることでしょう。



ジュニア育成で課題はありますか

小杉 ●愛知県はジュニアゴルファーの数が他県に比べて圧倒的に多いです。7月21日に春日井CCで行いました小学生大会には約90名のちびっ子ゴルファーが集まりました。上手い子もいます。しかし連盟が後押ししても、高校生になると他府県の学校へ行ってしまふ生徒がいます。せめて大学生になってから進路を決めてほしいと思うんですが、親御さん側にもいろいろな事情があるんでしょうね。

加藤 ●練習は熱心ですね。街中の練習場へ時々行きますが、午後4時以降や休日は、以前より来場する子どもの数が増えたことを実感します。なんとか「ゴルフ王国」愛知から将来性のある選手を出したいですね。

泉 ●ジュニア育成となると、やっぱり企画立案して、実際にそれに携わる方々が動いて初めて成果が出るものです。そう言う組織を充実させるにしても中部全域でやろうとすると広すぎるけど、県連でやれば、身近ですし小回りがきいてやれる事も多いですよ。

平成23年度の主な競技を終えて。



泉 憲一氏

AGA県民体育大会は、ゴルファーの意識を変えましたか

加藤 ●エチケット・マナーが良くなっています。県民体育大会の効果でしょうね。前が1ホール空いているので、競技委員が詰めるように指導するのですが、高齢者のゴルファーでも直ぐに対応してくれます。素晴らしいことです。

小杉 ●プライベートでゴルフを楽しんでいた人が、遊びのプレーの延長のような感じでしたが、急速に競技志向の考え方に変わってきましたよ。競技としてのスコアカード②

第14回 愛知県男子アマチュアゴルフ選手権競技 兼 第66回国民体育大会 愛知県大会

◎平成23年6月8日(水)・9日(木) ◎額田ゴルフ倶楽部(西コース) 7045ヤード PAR72 ◎参加人数 167名

パット好調、大学生の荒川選手が初優勝

初日の首位は1アンダー71の小島大輝選手(愛学院大4年)と峠丈翔選手(江南北部中3年)。1打差の72に酒井佳樹選手、金子健也選手(星城高3年)、荒川裕紀選手(愛産大3年)の3人が続きました。83ストロークまでの100名が進出した決勝ラウンドでは、荒川選手が3バーディ2ボギーの71で回り通算143で初優勝。最終組の酒井選手は17番Hを終え、首位タイでしたが、最終18番Hで痛恨のOBを打ち、総合優勝を逃しました。

国体代表には荒川選手、30歳以上の部優勝の酒井選手、そして初日21位から急浮上した新美金之介選手の3人が選ばれました。



▲29歳以下の部



▲30歳以上の部

●総合の部			
順位	選手名	所属	G (1R 2R)
1	荒川 裕紀	(名古屋市)	143(72 71)
●29歳以下の部			
順位	選手名	所属	G (1R 2R)
1	荒川 裕紀	(名古屋市)	143(72 71)
2	峠 丈翔	(江南市)	144(71 73)
3	安富 慎	(豊田市)	146(75 71)
4	小島 大輝	(東海市)	147(71 76)
5	白石 大和	(豊田市)	147(74 73)
●30歳以上の部			
順位	選手名	所属	G (1R 2R)
1	酒井 佳樹	(名古屋市)	145(72 73)
2	新美金之介	(半田市)	146(76 70)
3	松本 英司	(豊田市)	147(75 72)
4	西尾 正樹	(名古屋市)	149(73 76)
5	金本 湧謙	(東海市)	150(76 74)



▲荒川裕紀選手



▲酒井佳樹選手

記者メモ



小学6年生の青山晃大選手と田中伸乃輔選手はともに79で県男子アマ初日を通過、決勝では同じ組で回ったが、素振りなしのショットやパットなど、てきぱきプレーで大人たちを大いに感心させた。

第14回 愛知県女子アマチュアゴルフ選手権競技 兼 第66回国民体育大会 愛知県大会

◎平成23年6月1日(水)・2日(木) ◎三好カントリー倶楽部(西コース) 6295ヤード PAR72 ◎参加人数 81名

中学3年の新木選手が大学生を抑えて初優勝

76で初日首位の新木葉月選手(聖霊中3年)は決勝で緊張したのか、前半を40たたいてしまいましたが、10番H(Par4)で残り180ヤード弱の第2打を直接カップインさせて、イーグルを奪取。そのまま勢いに乗って、後半38とし、2位と2打差で初優勝を飾りました。新木選手は今年度の県ジュニア女子の部に続く2勝目となりました。国体女子の代表に、優勝の新木選手、2位の牧里奈選手(名商大4年)、3位の荒木美友選手(大手前大3年)が選出されました。



▲29歳以下の部



▲30歳以上の部

●総合の部			
順位	選手名	所属	G (1R 2R)
1	新木 葉月	(名古屋市)	154(76 78)
●29歳以下の部			
順位	選手名	所属	G (1R 2R)
1	新木 葉月	(名古屋市)	154(76 78)
2	牧 里奈	(名古屋市)	156(81 75)
3	荒木 美友	(名古屋市)	158(80 78)
4	柏井 麻衣	(名古屋市)	159(81 78)
5	長田紫野香	(安城市)	160(81 79)
●30歳以上の部			
順位	選手名	所属	G (1R 2R)
1	鈴木 智子	(名古屋市)	162(79 83)
2	大村 洋子	(名古屋市)	167(82 85)
3	兵藤 慶子	(豊田市)	169(83 86)
4	久保由加子	(名古屋市)	177(87 90)
5	井井 正子	(半田市)	178(87 91)

記者メモ

新美選手は53歳で国体初代表となった。「新南愛知CCの大先輩、浦山(浩充)さん(故人)に並んだことが本当にうれしい。」



記者メモ

県ジュニアと県女子アマを制覇した新木選手は小学2年生から競技に出場してきたが、大きな大会での優勝は初めて。「女子アマではイーグルがあったり、ミスショットが花道に行ったりとラッキーがいくつもありました」と、ビックリの様子だった。



▲新木葉月選手



▲鈴木智子選手

地元で楽しむ、ゴルフ競技の魅力 **座談会**

④の書き方も覚えてきた。当たり前のことですが以前では面倒なこと意識もありましたね。県民体育大会を引き受けてくれる各ゴルフ場が啓蒙している成果です。

加藤 ●それは確かです。どの倶楽部でも競技用のスコアカードを出しマーカー指定をしています。

ジュニアも良くなりました。昔は、親に怒られるからとスコアをごまかしたり、ポケットから別のボールをわからないように出して、OBを消したり、ひどかったですね。



加藤幸一氏

ゴルフ振興基金の制度も定着してきましたね

小杉 ●これはゴルファーの皆さんのプレー費から30円を基金としてお願いしているものですから、AGAではそのお金をゴルファー全員のメリットになるような事業に活用したいと考えています。

泉 ●県民体育大会は、相当なゴルファーが集まって、30円の振興基金が県連主催でこのように使われていることを、愛知県民に上手くアピールすることが出来たんですね。

小杉 ●昨年度は、延べ5400名ほどの参加者があり前年より順調に増えています。振興基金の活用で参加費の負担も少なく、予選会は何回でもエントリーして決勝大会への挑戦が出来ます(※)。決勝大会に進出できると、メンバーでなくても憧れのゴルフ場で競技ができることも魅力です。

※開催ゴルフ場など詳細はAGAホームページをご覧ください。



振興基金の用途でスナッグゴルフの普及活動も上げられます。ゴルフを始める人のためにゴルフ場へ行かなくても、大勢の方が、校庭や体育館で基礎を学ぶことが出来ますから大変有効です。LPGA(日本女子プロゴルフ協会)に協力してもらいスナッグゴルフの指導者育成から始めました。ジュニア育成には、まず愛好者の底辺拡大が不可欠ですので、こうした地道な活動こそ大事にしたいと思っています。

愛知県ゴルフ連盟の今後の課題はどんなことでしょうか

泉 ●県連の競技は、中部ゴルフ連盟のお



藤元ですから、運営が同じパターンの繰り返しになりがちです。しかし、これからは独自性を出すことも大事だと思います。個人的には愛知県オープンが復活するのいいと思います。それには組織をもっと固めないといけません。現在の県連の委員会は、競技委員会と運営委員会の2つだけですが、専門にやっていただける部会を作らないといけませんね。ジュニア育成部会は、早急の課題でしょうね。JGAもジュニア育成のために、ジュニア会員に街の練習場を開放してもらえないかという話も持ち上がっているようですが、県連でそのようなことを具体的にとりまとめることも、大事なことと思っています。県連なら近くの練習場とタイアップして、JGAジュニア会員に対してどのように支援したらよいか、ゴルフ人口を増やそうとする近道かもしれません。あと競技では、インタークラブ競技、JGAハンディキャップを普及する観点か

らもアンダーハンディキャップ競技などがあっていいと思います。

加藤 ●もともと愛知県連は、ゴルフが国体種目となり、その時点から日本全国で県連が画一化されるようになり立ち上りました。

泉 ●せめてジュニアの育成振興に関してはJGA(日本ゴルフ協会)とCGA(中部ゴルフ連盟)、AGA(愛知県ゴルフ連盟)の活動がピタッと一本化していることが望ましい。実施活動の面で重複があつたりしないようにスッキリいきたいですね。

小杉 ●そうです。愛知県の競技が、「国体への道」へつながるとなると、国体ゴルフ競技が見直され、各県でもトップクラスの選手が出るようになりました。出場すれば自信がつかますし、プレー態度も変わってきますね。国体はアマ競技としていい目標です。ここを目標に強くなったジュニアも結構いますよ。しかし、県は県で独立と言うことでなくて、

●平成23年度の主な競技を終えて。

CGAへの参画の中で上手くやっていくというのが、県連のあり方だと思います。

泉 ●本来、アマチュア競技というのは、県単位のような身近な競技であることが一番いいことでしょう。愛知のゴルファーが北陸へ行って試合をやっているより、県内であれば、自分の居住する地元で行われますので、いつもの仲間と一緒に参加できるという魅力があって楽しいですね。そこが県の競技の良さでないでしょうか。

たまたまCGAとAGA両連盟では一緒の役員・委員がいますが競技の一貫性を配慮したうえの組織。今後は、組織が違っても、話し合いを強めていくことが課題でしょうね。

小杉 ●JGAにしても、CGAにしても「ゴルフ界の発展のため」「ゴルフ界の活性化のため」という大義名分は一致していますので、そこを忘れないでAGAも運営していかなければいけません。



第12回 愛知県ジュニアゴルフ選手権競技 兼 第66回 国民体育大会 愛知県大会

◎平成23年5月29日(日)
◎名古屋グリーンカントリークラブ(東コース)
男子の部:6515ヤード PAR72 女子の部:5937ヤード PAR72
◎参加人数 男子 149名 女子 24名

男女ともプレーオフに突入し、勝者は中学3年生

中学3年生から高校3年生までが出場資格の県ジュニア。この日は、台風の接近により朝6時に警報が出ていたら中止という状況でしたが、土砂降りの中、競技は無事開催されました。男子は岩淵隆作選手、安富慎選手、佐藤祐希選手の3人、女子は新木葉月選手と山下美樹選手の2人によるプレーオフにもつれこみ、男女とも1ホール目で決着、中学3年生の岩淵選手と新木選手が栄冠を手に入れました。



順位	選手名	所属	G
男子の部			
1	岩淵 隆作(日進東中3)	75	
2	安富 慎(栄徳高2)	75	
3	佐藤 祐希(栄徳高2)	75	
4	白石 大和(豊田朝日丘中3)	76	
5	高木 康誠(星城高3)	76	
女子の部			
1	新木 葉月(聖雲中3)	77	
2	山下 美樹(星城高3)	77	
3	橋本 京(楠中3)	79	
4	鈴木 里菜(愛工大名電高2)	80	
5	安藤 響木(東海学園高2)	80	

第4回 愛知県男子シニアゴルフ選手権競技 第3回 愛知県男子グランドシニアゴルフ選手権競技 兼 第11回 日本スポーツマスターズ 愛知県大会

◎平成23年6月23日(木) ◎葵カントリークラブ
6380ヤード PAR72 ◎参加人数 シニア 118名 グランドシニア 52名
シニアは小林選手、グランドシニアは小野田選手

うだるような暑さの一日。シニアは日本シニア、中部シニアオープンのタイトルを持つ小林利治選手が初優勝、グランドシニアは初参加の小野田篁選手が勝利しました。ともに3バーディ4ボギーの73でしたが、マッチングスコア形式で、総合優勝は小林選手となり、愛知県知事賞が贈られました。日本スポーツマスターズ代表は小野田選手が辞退したことにより、小林選手、内藤良司選手、小松日出男選手に決定しました。



▲小林利治選手



順位	選手名	所属	G
●シニア			
1	小林 利治(豊田市)	73	
2	内藤 良司(名古屋市)	74	
3	小松日出男(豊川市)	75	
4	加納 友二(岡崎市)	76	
5	杉田 伸一(豊川市)	76	



▲小野田篁選手



順位	選手名	所属	G
●グランドシニア			
1	小野田 篁(愛知郡)	73	
2	鈴木 尚武(豊川市)	76	
3	友安 京三(安城市)	79	
4	御手洗藤夫(一宮市)	80	
5	伊豫田 等(岡崎市)	81	

第4回 愛知県女子シニアゴルフ選手権競技 第3回 愛知県女子グランドシニアゴルフ選手権競技 兼 第11回 日本スポーツマスターズ 愛知県大会

◎平成23年6月30日(木) ◎さなげカントリークラブ
5813ヤード PAR72 ◎参加人数 シニア 49名 グランドシニア 55名
夏日の戦い。日本スポマス代表はシニアの3人

総合優勝したシニアの小野選手は、インスタートで前半は3ボギーの39、後半1番Hの第1打を右へ曲げ、あわやロストボール。ここをボギーでしのぎ、さなげCCでの自己ベストで勝利しました。また、今年度から設けられたゴールドシニアの部(70歳以上で、6名参加)でトップの白谷幸子選手は、グランドシニアの部でも堂々2位の成績でした。日本スポーツマスターズの代表にはシニアの小野、大村、長村選手の3名が選出されました。



▲小野満智恵選手



順位	選手名	所属	G
●女子シニア			
1	小野満智恵(豊田市)	76	
2	大村 洋子(名古屋市)	78	
3	長村 啓子(日進市)	78	
4	小澤美恵子(一宮市)	81	
5	西山 珠美(名古屋市)	82	



▲八田美恵子選手



順位	選手名	所属	G
●女子グランドシニア			
1	八田美恵子(岡崎市)	81	
2	白谷 幸子(原田市)	82	
3	萩野 節子(海部郡)	83	
4	石橋 容子(豊橋市)	83	
5	石川 真理(尾張旭市)	83	

第3回 愛知県小学生ゴルフ選手権競技

◎平成23年7月21日(木) ◎春日井カントリークラブ(東コース)
5234ヤード PAR72 ◎参加人数 男子 48名 女子 39名

小6、青山選手が自己ベストタイ、65をマーク

小学校4年生から6年生までが参加する小学生ゴルフ選手権は、男女合わせて87人と過去最高の参加者となりました。ゴルファーの低年齢化とともに、小学生の実力は年々アップしています。男子の部は青山晃大選手が8バーディ1ボギーの65をマーク。2位の田中伸乃輔選手も5バーディ2ボギーの69で堂々のアンダーパー。二人が圧倒的な強さを見せました。また、女子の部は、小5の立浦珠唯選手が自己ベストの75で初優勝しました。



順位	選手名	所属	G
男子の部			
1	青山 晃大(ほのか小6)	65	
2	田中伸乃輔(松葉小6)	69	
3	光部 集(金屋小6)	76	
女子の部			
1	立浦 珠唯(渡川小5)	75	
2	青井 麻瑚(植田東小6)	76	
3	中川 成美(坂田小5)	77	

第24回全国健康福祉祭 ねんりんピックゴルフ競技 愛知県大会

◎平成23年5月17日(火) ◎東海カントリークラブ 男子:6318ヤード 女子:5635ヤード PAR72
◎参加人数 135名

仲良しゴルファー3人組の トータルネット勝負

60歳以上が参加してダブルベリア方式の18ホールストロークプレーで行われました。70歳代を一人以上加えた3人で組む団体戦で、愛知県代表と名古屋市代表が決定しました。全国大会は10月17日に熊本県・阿蘇GCで開催されます。



▲団体総合の部 ▲個人総合の部

順位	団体名	T	H	N
●団体総合の部				
1	三浦・杉田・山本 チーム(愛知県代表)	255	30.0	225.0
2	山本・原田・深谷 チーム	263	37.2	225.8
3	深田・塩谷・成田 チーム	249	22.8	226.2
12	松田・山根・山中 チーム(名古屋市代表)	264	34.8	229.2

順位	選手名	G	H	N
●個人総合の部				
1	野中 義彦(犬山市)	82	12.0	70.0
2	鮎 一記(豊田市)	72	1.2	70.8
3	深谷 勝利(大府市)	89	16.8	72.2

●国体少年男子の部の出場権をかけた東海ブロック大会が2011年7月12日(火)・13日(水)三重県・鈴峰GCにて開催され、安富慎選手、白石大和選手、峠丈翔選手が出場しました。その結果、3名の総計は239で、出場4県中4位となり、東海ブロック代表を逃しました。

愛知県ゴルフ連盟ではスナッグゴルフや レッスン会を通して、ジュニア育成をすすめています。



AGA ジュニアゴルフ体験会

ゴルフコース未経験の小学生を対象に、愛知県ゴルフ連盟ジュニア育成部会やゴルフ場支配人が中心になって、体験会を実施しました。参加者はみな元気いっぱい、初めてのゴルフに挑戦しました。



第1回 ジュニアゴルフ体験会

◎平成23年1月8日(土) ◎品野台カントリークラブ

第2回 ジュニアゴルフ体験会

◎平成23年3月21日(月) ◎中京ゴルフ倶楽部 石野コース

第5回 AGAスナッグゴルフ大会

◎平成23年4月2日(土) ◎貞宝カントリークラブ・ショートコース

毎年参加者が増えているAGAスナッグゴルフ大会は、今回から入賞経験者のAクラスを午前、未経験者のBクラスを午後、と2回に分けて大会を開催しました。Aクラスは全国大会にも出場したことがある小学2年生から6年生までの19名、Bクラスは初めての競技に挑む27名の参加となりました。

競技成績

- 団体の部【Aクラス】**
- 朝日丘ビバーズ(鈴木滉世、近藤凜平、岩崎裕斗) 81
 - 西小ファイターズ(野間香帆、桶本大貴、守永祐靖) 82
 - 西小ドリームズ(三枝俊介、三浦篤修、立松晶) 86
- 団体の部【Bクラス】**
- 朝日丘ラビッツ(赤川歩、岡田暖哉、酒井輝) 95
 - 千石ブリザードファイター(加藤裕斗、山田社一郎、三倉大司) 99
 - 西小ボンバーズ(守永留輝、野間奏多、加藤慶大) 99



- 個人の部【Aクラス】**
- 鈴木滉世(朝日丘ビバーズ) 25
 - 三浦篤修(西小ドリームズ) 25
 - 渡辺 匠(西小チャレンジャー) 26
 - 守永祐靖(西小ファイターズ) 26
 - 橋本 蓮(個人) 27
- 個人の部【Bクラス】**
- 野間奏多(西小ボンバーズ) 28
 - 赤川 歩(朝日丘ラビッツ) 30
 - 守永留輝(西小ボンバーズ) 32
 - 山田社一郎(千石ブリザードファイター) 32
 - 三浦明房(西小イーグルズ) 32

平成22年度 AGAスナッグゴルフ指導者講習会 スナッグゴルフから始めるジュニア育成

◎平成23年3月5日(土) ◎瀬戸市体育館、芝生公園
◎平成23年3月12日(土) ◎貞宝カントリークラブ・ショートコース

スナッグゴルフの普及を進めるために欠かせない指導者の養成。AGAでは、LPGA(日本女子プロゴルフ協会)の協力のもと、今年も座学と実技の講習会を2会場で開催しました。これまでに講習会を経験している上級者にはスナッグゴルフ指導の応用編として矯正法や大会の準備などについて、より高度な内容での講習が行われました。



第4回 AGAジュニアゴルフレッスン会

◎平成23年5月5日(木) ◎春日井カントリークラブ

技量だけに優れたゴルファーではなく、優秀なジュニアゴルファーの育成を目的とするゴルフレッスン会。今回から中部プロ会、中部女子プロ会のプロゴルファーが講師となって、小学生にゴルフを手ほどき。コースに出たことがない、または、初めてクラブを握るといふ小学校3年生から6年生までの39名が参加しました。4人に一人の先生がつき、エチケット、打撃&アプローチ、バッティングをレッスンした後、実際にコースに出てラウンドレッスンを行いました。



ゴルフトーナメントジュニア観戦ツアー 中日クラウンズ

◎平成23年4月30日(土) ◎名古屋ゴルフ倶楽部

プロのトーナメントがどのように開催されるのか。プレスルームやインタビュールーム、テレビ中継などスタッフたちの仕事を見ることができると毎回人気の高い観戦ツアー。今年は、クラウンズ事務局の計らいで、ティーグラウンドやグリーンサイドにジュニア観戦ポイントの特別席が設置され、子どもたちはすぐ間近でプロの真剣なプレーを観戦することができました。プロ選手に声を掛けてもらった子もあり、ゴルフツアーを一日たっぷり堪能しました。

芝と遊ぶ①

今号から「プレーと芝」について3回シリーズでコラムを掲載します。第1回は、後続プレーヤーのための「芝」への配慮。第2回は、春先の「芝」の更新作業に対する皆様へのご理解とご協力。そして第3回は、グリーンへの「速さ」についてご紹介します。

後続プレーヤーのための「芝」への配慮

グリーンは、コースの中で一番デリケートなスペースです。そこへ大勢のプレーヤーがボールを寄せ、歩き回ります。当のプレーヤー自身は気づきませんが、プレーヤーが作った芝の一日の傷痕箇所はかなりの数になります。「パット・イズ・マネー」といいますが、あなたのプレーが後続組のプレー上の不公平感につながりかねませんから、グリーン上のマナーはしっかり守りましょう。

●ピッチマークは、必ず直しましょう。

夏季は、とくに散水が頻繁に行われグリーン表面が柔らかくなっていますので、打球のピッチマークがつきやすくなっています。放置すると後続の人のライン上となり迷惑にもなりかねません。また放置するとピッチマークの部分だけがすぐに枯渇して美観をそこないます。

●グリーン上の歩き方。

足を上げて歩きます。スリッパのような「履き物」歩きや、ロングパットが入った瞬間のジャンプや走りはイエローカードです。

●ピンは、旗の部分をもってグリーン上に置く。

ピン竿は、放り投げるようにバタンと置かず、旗の先をつまんでおろすように置きます。手で持っている場合は、竿先を芝地につけないで両手で横に持ちます。

【フェアウェイのディボット跡】

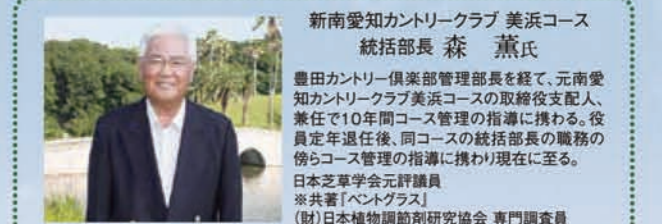
ターフを舞い上げるクリーンショットは気持ちよいものですが、そのために出来たディボット跡は、カートに付帯している「砂」で目土してください。または、飛ばしたターフをディボット跡に埋めます。それだけで後続プレーヤーの球が不運にも跡に入って止まることを防ぐことができます。

【フェアウェイでの素振り】

素振りは何度でも、すみやかにアドレスしてください。また、素振りでディボット跡を作らないようにしましょう。

●グリーン上の歩行は、最少歩数にとどめましょう。

グリーン内への初めの歩行は、球が一番近いところから入りまします。そしてバッティングが終わった順にグリーンを出ます。全員が終わるまでグリーン上で立ち止まらないように。芝にとって、人間の重量が一番大敵です。



新南愛知カントリークラブ 美浜コース
統括部長 森 薫氏

豊田カントリー倶楽部管理部長を経て、元南愛知カントリークラブ美浜コースの取締役支配人、兼任で10年間コース管理の指導に携わる。役員定年退職後、同コースの統括部長の職務の傍らコース管理の指導に携わり現在に至る。
日本芝草学会元評議員
※共著「ベストグラス」
(財)日本植物調節剤研究協会 専門調査員

平成22年度 第3回 AGA県民体育大会ゴルフ競技 最終結果報告

スクラッチの部 決勝大会

◎平成23年3月2日(水)
◎愛知カンツリー倶楽部

一般男子	6951ヤード PAR74
一般女子	6216ヤード PAR74
シニア男子	6573ヤード PAR74
シニア女子	6015ヤード PAR74
◎参加人数	
一般男子	37名
一般女子	30名
シニア男子	37名
シニア女子	32名

各クラス上位10名は県アマなどへの出場権獲得
風が強くて冷たい一日。平成22年秋から順次行なわれた各予選会でクロス優勝した選手たちによる決勝大会は、男子55歳、女子50歳以上のシニアの部と一般の部で競われました。総合優勝した河北信章選手と田村多美子選手はどちらもシニアの部の選手でした。各クラスの上位10名は県アマ、県女子アマ、県シニア、県女子シニアへの出場権を獲得しました。

順位	選手名	所属	G	順位	選手名	所属	G
一般男子				シニア男子			
1	鈴木 善雄(西尾市)		81	1	河北 信章(名古屋市)		80
2	倉田 順一(安城市)		81	2	飯塚登代治(春日井市)		83
3	竹中 智哉(刈谷市)		82	3	志水 重哉(日進市)		84
4	高木 康誠(名古屋市)		82	4	深田 利幸(豊田市)		84
5	小島 朋広(名古屋市)		83	5	加藤永太郎(みよし市)		86
一般女子				シニア女子			
1	矢頭 弓恵(豊田市)		88	1	田村多美子(豊田市)		85
2	萩原 マリ(岡崎市)		88	2	藤本恵美子(春日井市)		87
3	山下 美樹(刈谷市)		90	3	大村 洋子(名古屋市)		89
4	柴田 美樹(岡崎市)		90	4	杉山 ユカ(岡崎市)		89
5	松島 直子(名古屋市)		91	5	石川 孝子(半田市)		93

ダブルベリアの部 決勝大会

◎平成23年2月22日(火)
◎知多カントリー倶楽部

松組男子	6159ヤード PAR72
松組女子	5501ヤード PAR72
竹組男子	6237ヤード PAR72
竹組女子	5501ヤード PAR72
◎参加人数	
松組男子	33名
松組女子	24名
竹組男子	34名
竹組女子	31名

男女とも総合優勝は、55歳以上の松組から
ダブルベリアの部は、今年度から各予選会場で1位通過の選手のみが出場、ポカポカ陽気の冬の日を楽しみました。総合優勝は、男子は62歳の山村信夫選手、女子は63歳の壁谷ゆみ子選手で、どちらも県民体育大会には第1回から出場。「メンバーに恵まれた」「楽しくできた」と初優勝を喜んでいました。

順位	選手名	所属	G	H	N	順位	選手名	所属	G	H	N
松組男子						竹組男子					
1	山村 信夫(春日井市)		80	9.6	70.4	1	山下 茂(刈谷市)		77	6.0	71.0
2	野村 政義(名古屋市)		84	13.2	70.8	2	長谷川 顕(豊田市)		80	8.4	71.6
3	高見 要策(豊田市)		83	12.0	71.0	3	坪井 孝司(西尾市)		79	7.2	71.8
4	木村 純(名古屋市)		80	8.4	71.6	4	高橋 成治(碧南市)		87	14.4	72.6
5	近藤 孝之(豊明市)		87	14.4	72.6	5	小森 敦夫(名古屋市)		80	7.2	72.8
松組女子						竹組女子					
1	壁谷ゆみ子(蒲郡市)		83	10.8	72.2	1	藤川 福子(岡崎市)		86	13.2	72.8
2	牧 恵美子(日進市)		85	12.0	73.0	2	堀木 祐子(岡崎市)		92	19.2	72.8
3	鈴木裕見子(幡豆郡)		99	25.2	73.8	3	岩瀬 薫(名古屋市)		91	18.0	73.0
4	華地山博子(名古屋市)		87	13.2	73.8	4	杉浦智恵子(知多郡)		90	15.6	74.4
5	愛知 辻子(豊田市)		98	24.0	74.0	5	内山 京子(愛知郡)		89	14.4	74.6